

テーマ型共創フロント 募集シート

■提案の募集内容について

募集テーマ	鶴見工場の排ガスから実証試験として回収された二酸化炭素を有効利用する提案
提案の募集対象 (テーマに関連する事業等の概要)	【名称、概要、場所、その他データ等】 鶴見工場では、ごみ焼却により発生する排ガスから二酸化炭素(CO ₂)分離回収装置を用いて CO ₂ を回収する実証試験を実施しています。 分離回収した CO ₂ の利用を促進するため、CO ₂ を有効利用するアイデアを募集します。 提案の為に回収した CO ₂ を利用する場合、研究用として提供します。
提案を募集する背景・課題	横浜市では、2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを目標としており、ごみ焼却によって発生する CO ₂ の排出削減が必要です。 現在、ごみ焼却時に排出される排ガス中から CO ₂ を分離回収する装置を設置し、実証試験を行っておりますが、回収された CO ₂ の利用先を拡大するために新たな利用先及び利用先に合わせた輸送方法の提案を募集します。
課題によって ①誰が ②どう困るのか	①市民及び民間事業者 ②地球温暖化による気候変動による影響 CO ₂ の分離回収技術及び有効利用の研究進展に影響
課題に対して横浜市が現在どう関わっているのか	CCU 実証試験による CO ₂ 分離回収に向けた課題検討、プラごみの分別収集による燃やすごみに含まれるプラスチックの削減などを実施。 【関連資料】 ・ごみ焼却工場の排ガスからの CO ₂ 回収とメタネーションへの利用実証の開始(横浜市ウェブサイト) https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/green/2023/20230728press.html
募集対象 ※チェックのついたものが、今回の募集の対象です	<input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の提案及び連携事業者の募集 ⇒テーマに関する公民連携の提案・アイデア及び連携事業者の両者を募集するものです。 <input type="checkbox"/> 公民連携の提案のみの募集 ⇒横浜市が今後の事業等の方針や仕様を定めるために、テーマに関する公民連携の提案・アイデア等のみを募集するものであり、連携事業者を募集するものではありません。
横浜市が希望する提案について	<ul style="list-style-type: none"> 回収した CO₂の有効利用方法の提案 回収した CO₂の利用先に合わせた輸送方法の提案 CO₂の利用研究の提案
想定する提案の例	<ul style="list-style-type: none"> 工場で回収した CO₂を利用した製品の開発に向けた研究 農業や漁業などの第一次産業への利用の研究

■提案にあたっての条件

募集期間	令和6年4月15日(月)～令和9年3月31日(水)
実施予定時期	令和6年5月7日(月)～令和9年3月31日(水)
提案の形式	様式3の【提案シート】をご提出ください。 ※提案シートの他、企画書や関連資料の添付も可です
提案の選定方法 ※チェックのある方法で選定します	<input type="checkbox"/> 特に選定をしません(提案内容が妥当であれば採用数を絞込まない) <input type="checkbox"/> 審査等による選定等を実施(提案内容等を審査・選定し採用数を絞込む) <input type="checkbox"/> 提案を参考に、あらためて実施事業者の公募等を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他(共同実証中のため、参加各社の合意が必要になります。)
横浜市から提供できるメリット	既設 CO ₂ 分離回収装置で回収した CO ₂ (最大0.3t/日を週1日程度、圧力0.8MPa)を提供します。なお、CO ₂ の輸送は、提案者の手配となります。

横浜市の予算措置の可能性	現在、横浜市としての予算措置は予定していません。
その他の留意点	<ul style="list-style-type: none">・ CO₂ の提供は研究目的に限ります。・ 東京ガス、三菱重工グループと共同実証中のため、提案内容の実施には各社の合意が必要です。・ 実証試験の状況により実施予定期間中であっても、CO₂ の提供が出来ない場合があります。
提案のお申込み先・内容についてのお問い合わせ先（事業所管部署）	横浜市資源循環局 施設課 電気係 TEL 045-671-2517 FAX045-664-9490 E-mail sj-shisetsu@city.yokohama.lg.jp